

# タイヤは早めの交換が安心です

残り溝4mm付近から、雨の日に止まりにくくなります



試験条件:2011年6月19日ブリヂストンによるテスト/タイヤサイズ:185/60R15 84H(新品タイヤ、50%摩耗タイヤ、残り溝1.6mmタイヤ)/テスト車両:フォルクスワーゲン ポロ(H22年式DBA-6RCPZ)/場所:ブリヂストンブルーミンググラウンド/水深:2mm/制動初速度:80km/h/ABS:あり

残り溝 **2mm** 以下 使用限度間近\*

**要交換**

\*タイヤの使用限度は法令で残り溝1.6mmと定められています

残り溝 **3mm** 前後 大きく性能低下

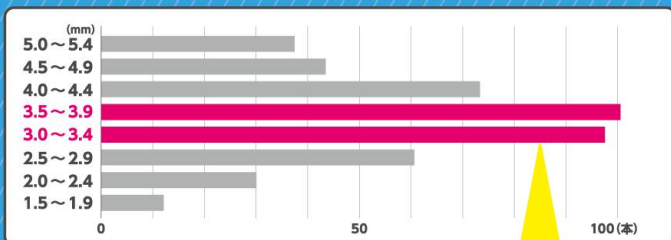
**早めの交換**

残り溝 **4mm** 付近 性能低下開始

**注意が必要**

## 一般的なタイヤの交換タイミング

### ・タイヤの交換タイミング(残り溝調査)



※2005~2007年ブリヂストン調査(首都圏・近畿圏での廃品調査結果 N=499)  
新品時の溝の深さはブランド・サイズ等によって異なります。

## 交換までの日数目安

### ・タイヤ交換推定日数早見表

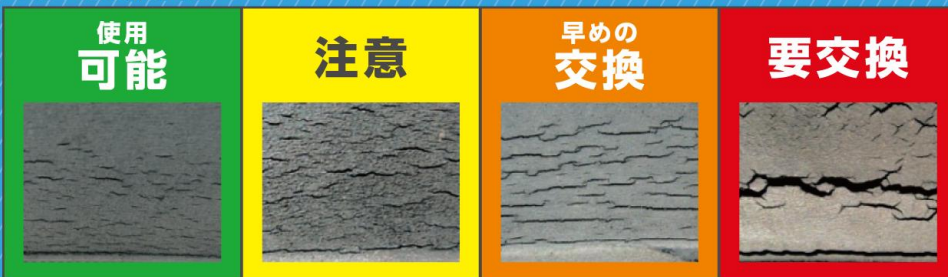
	現在残り溝4.0mmの場合	3.0mmまで	1.6mmまで
月平均走行キロ	1,000km ▶	5ヶ月	12ヶ月
	1,500km ▶	3.3ヶ月	8ヶ月
	2,000km ▶	2.5ヶ月	6ヶ月
	3,000km ▶	1.6ヶ月	4ヶ月

※5,000kmで溝が1mm減り、残り溝が1.6mmになれば交換が必要という条件で算出。  
実際は車両・走行条件等により、この表通りにはならない場合もあります。

約4割の方が、残り溝3~4mmで交換されています

## ヒビ・キズにも要注意

### ・ヒビの交換目安



使用から5年以上経過したタイヤは特に注意が必要です

### ・キズのついたタイヤ例



特にサイド部は薄いので要注意

どちらもコードまで達すると故障や破裂(バースト)につながる恐れがあります